

授業科目 言語聴覚障害診断学

言語聴覚学科
専門

【担当教員名】 言語聴覚学科全教員	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜一般目標：G I O＞】

言語聴覚障害の診断では、対象者とその家族に対して面接、検査、観察を行い、必要に応じて関連する他機関の情報を集め、それらを総合的に評価する必要がある。その診断にもとづいて治療計画を立案し治療を実行するのであるから、もし診断に誤りがあれば治療効果は現れない。

本講義では、それぞれの言語聴覚障害を評価・診断する上での基本的な考え方と手順を知り、各種の言語障害に対応した治療計画を立案する方法について理解する。

【＜行動目標：S B O＞】

1. 臨床上有効な言語症状の分類法を説明する。
2. 情報収集の方法を具体的に述べる。
3. 鑑別・診断および治療計画作成の手順を説明する。
4. 言語臨床で対象とする種々のコミュニケーション障害とそれに関連する領域の諸障害について対比する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	聴覚障害と発音・構音障害の診断・指導	1~4	追って知らせる
2	聴覚障害と発音・構音障害の診断・指導	1~4	追って知らせる
3	成人失語症	1~4	追って知らせる
4	成人失語症	1~4	追って知らせる
5	成人失語症	1~4	追って知らせる
6	成人発声発語障害	1~4	追って知らせる
7	成人発声発語障害	1~4	追って知らせる
8	言語発達障害	1~4	追って知らせる
9	言語発達障害	1~4	追って知らせる
10	構音障害（器質）	1~4	追って知らせる
11	摂食嚥下障害	1~4	追って知らせる
12	摂食嚥下障害	1~4	追って知らせる
13	神経学的スクリーニング法	1~4	追って知らせる
14	神経学的スクリーニング法	1~4	追って知らせる
	開講日程、担当教員と講義順序は追って知らせる		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	言語聴覚療法臨床マニュアル	日本言語療法士協会編著	協同医書出版	1992年・9785円
	声の検査法 基礎編、臨床編	日本音声言語医学会編	医歯薬出版	1999年・4400円、5400円
	言語治療マニュアル	福迫陽子他編	医歯薬出版	1995年・9600円
その他の資料	随時配布する。			

【評価方法】 出席状況と定期試験で評価する。	【履修上の留意点】 開講日程は変則的なので後日の日程発表に留意すること
---------------------------	--